

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

ビジネス・防災対策委員会 基本方針（案）

ビジネス・防災対策委員会 委員長 飯筐 壽久

1 昨今の新型コロナウイルス感染症により、経済・日常生活ともに様変わりしています。県
2 内の経済状況も少しづつ状況は持ち直しつつありますが、まだまだ先行きは不透明であり、
3 新型コロナウイルスに対応したビジネス、人材不足等が県内企業課題は山積です。また、佐
4 賀県内においては、8月の大雪は2年前に匹敵する甚大な被害をもたらしました。毎年自然
5 災害の影響が出ており、ビジネスを継続していくためには、防災・減災への取り組みが必要
6 です。

7 まずは、災害時に迅速な対応をするために、連携の継続・拡大への取り組みを推進すること
8 で、早期の復旧、物資確保・供給をし、安心なまちづくりに繋げていきます。そして、若い世代の防災・減災意識の向上のため、子育て世代に向けた親子参加型の防災事業を展開す
10 ることで、防災意識の向上で災害が子供に与える影響の軽減に繋げます。さらに、災害時に
11 必要となるボランティア不足を解消するために、大学・短期大学・専門学校との連携を進め、
12 ボランティア数の確保、学生への学びに繋げていきます。また、ビジネス分野においてはメ
13 ナバーの社業発展のために、メンバー自身の課題解決に向けた、セミナー等を開催すること
14 で、メンバーの学びや社業の発展につなげ、佐賀経済の活性化に貢献し、メンバー一人ひとりが地域を担う青年経済人としての質の向上を目指します。

16 W I T H コロナの時代を生き抜き、より良い地域社会創りに貢献していくには、一般社団
17 法人佐賀青年会議所でだからこそできる事に挑戦し、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のも
18 と、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

19

20

21

22 [事業計画]

- 23 1. 防災事業の企画・運営（6月）
- 24 2. 新年会の企画・運営（1月）
- 25 3. サマーコンファレンスのアテンド（7月）
- 26 4. 例会の企画・運営（5月・9月）
- 27 5. 薩長土肥の企画・運営（11月）
- 28 6. 会員拡大・拡大目標全体40名・各委員会8名